

2022年9月30日～10月2日
会計理論学会第37回全国大会
立命館大学 大阪いばらきキャンパス

オンライン空間における監査社会

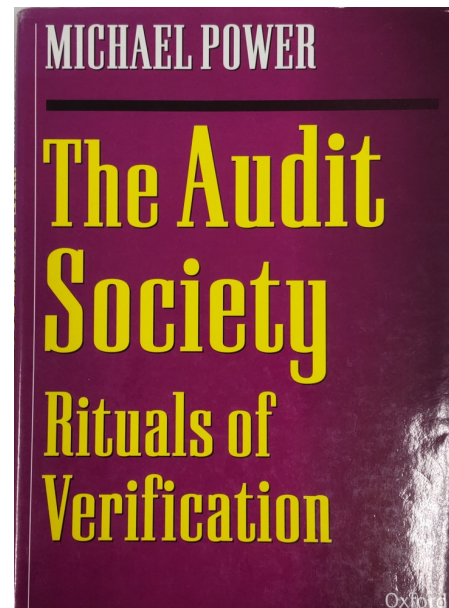
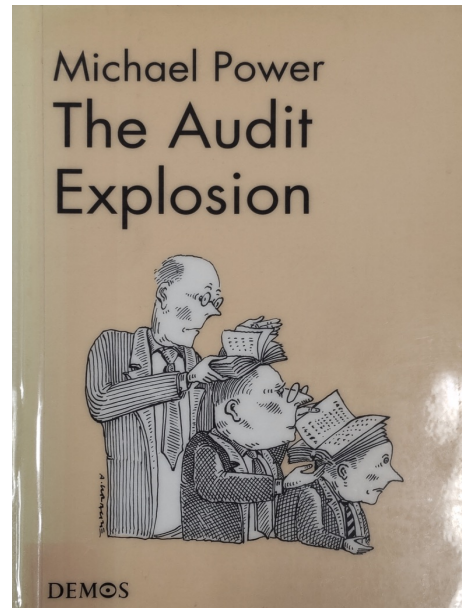
－ファクトチェックサイトの事例－

岡野泰樹（北海道大学）

1. はじめに

< 報告の背景 >

『監査爆発』 (Power [1994a]) 『監査社会』 (Power [1997])



▷ 多様な領域への監査の拡張 (新たな監査の出現) と多様な監査の研究
(Chapman and Peecher [2011])

ファクトチェックサイトの急増－監査領域の拡張

ファクトチェック？

社会的影響力のある人物による公の主張の真実性を外部組織が評価・報告する実践
(Nieminen and Sankari [2021])

< 報告の目的 >

- ▷ ファクトチェックサイトの急増という現代的な現象に対する監査社会の論理の影響
- ▷ 伝統的な会計監査とそれを担ってきた会計専門職への含意

< 報告の構成 >

I. はじめに

II. オンライン空間における監査と監査社会の論理

1. オンライン空間における監査
2. 監査社会の論理

III. ファクトチェックサイトにおける監査社会の論理

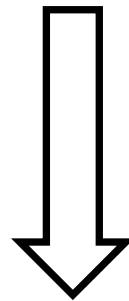
1. ファクトチェックとは何か
2. ファクトチェックサイトにおける監査社会の論理
3. 監査の多様性と会計専門職への含意

IV. 結論

II. オンライン空間における監査と監査社会の論理

1. オンライン空間における監査

Barrett and Gendron [2006]	: オンラインショッピングにおける監査
Jeacle and Carter [2011]	: 旅行レビューサイトにおける監査
Jeacle [2017]	: Amazonのウェブサイトにおける監査
Jeacle and Carter [2022]	: オンライン上の監査人としてのユーザーレビュー



再考の機会

伝統的な監査

独立した専門家による監査

2. 監査社会の論理

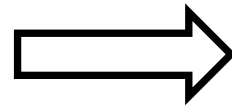
Power [1996] “Making things auditable”

一見すると監査困難な物事はどのように監査可能になるのか？

▷ 学術研究の監査の事例

▷ 品質の監査の事例

▷ ブランドの監査の事例



- 測定可能性への注目
- 統制システムの存在
- 専門家への依拠

Ⅲ. ファクトチェックサイトにおける監査社会の論理

1. ファクトチェックとは何か

社会的影響力のある人物による公の主張の真実性を外部組織が評価・報告する実践

起源と普及の経緯（Fabry [2017] , Graves [2016] ）

▷1980代の米国、とくに1988年の米国大統領選挙

▷正確さを欠いた広告の利用と「ad watch」の必要性

▷ 1990年代後半～インターネットの普及とファクトチェックサイトの誕生

▷現在～ファクトチェックの「世界的ブーム」 (Kessler [2014])

独立性 (政治的・経済的独立性) の重視

民主的な討議と説明責任のある政治を推進するという関心

(Graves [2018])



米国 PolitiFact

米国における主要なファクトチェックサイトの一つ

世界各国のファクトチェックサイトに大きな影響

(Graves [2018])

ファクトチェックの方法（Graves [2017] , PolitiFactホームページ）

（1）ファクトチェックの対象となる主張の選択

主張の検証可能性、社会の関心の高さ、社会への影響の大きさ、特定の政党への偏り等考慮

（2）当該主張の真実性・正確性を評価するための証拠の収集

当人へのインタビュー、主張の根拠となるデータの確認、専門家との協議

（3）当該主張の真実性・正確性に対する評価結果の報告

6つの評価結果のいずれか + 当該評価結果に至ったプロセス

6つの評価結果

①真実 (true) :

主張は正確かつ重大な脱漏がない。

②大部分真実 (mostly true) :

主張は正確だが明確化や追加情報が必要である。

③半分真実 (half true) :

主張は部分的に正確だが重要な詳細の削除・文脈の無視がある。

④大部分虚偽 (mostly false) :

主張は真実の要素を含んでいるが異なる印象を与えるであろう重要な事実を無視している。

⑤虚偽 (false) :

主張は正確ではない。

⑥炎上中 (pants on fire) :

主張は正確ではなく、ありえない主張をしている。

▷ 評価結果は公表前にファクトチェック実施者とは異なる者から構成される組織内委員会で審議

▷ 評価結果に対して読者が異議を申し立てる仕組みの構築

2. ファクトチェックサイトにおける監査社会の論理

一般に検証困難とされている主張が検証されている事例

主観性の強い主張・将来の事象

- ① 「今日の子供たちはより健康になっている」 -Hillary Clinton (Greenberg [2016])
- ② 「現在、米国は世界で最も尊敬される国である」 -Barack Obama (Jacobson [2015])
- ③ 「パキスタンは現在100発の核弾頭を保有しており、さらに多くの核弾頭を製造しようとしている。そう遠くはない将来、パキスタンの核保有量は英国を超えるだろう」 -Mitt Romney (Jacobson [2012])
- ④ 「米国によるイラン・イスラム共和国中央銀行への制裁は、イラン経済を停止させる」 -Rick Perry (Selby [2011])

どのようにして監査可能になったのか？

①「今日の子供たちはより健康になっている」：半分真実

肥満と判定されている子供の割合、鬱病を経験した子供の割合、喘息持ちの子供の割合等、数値で表現される健康を測定した特定の指標を利用

→測定可能性への注目（②も同様）

③「パキスタンは現在100発の核弾頭を保有しており、さらに多くの核弾頭を製造しようとしている。そう遠くはない将来、パキスタンの核保有量は英国を超えるだろう」：大部分真実

原子力や核技術、安全保障等、関連分野の複数の専門家からの意見聴取、意見が概ね一致

→専門家への依拠（④も同様）

統制システムの存在

…ファクトチェックに際して直接利用されているわけではない

しかし、ポリティファクト自体が、そこで行われる個々のファクトチェックの品質が管理されているという印象を喚起するシステムを構築している

▷独立性確保のための規定

▷ファクトチェック方法の体系化

▷ファクトチェック実施者から独立した組織内委員会による評価結果の審議、読者からの異議申し立ての仕組み

→ファクトチェック実施者が行う第一次的な監査に対する第二次的、第三次的な監査

「統制の統制（の統制）」という構造はPowerが指摘する監査社会の原理（Power [1994b]）

監査社会の論理のオンライン空間への拡張

3. 監査の多様性と会計専門職への含意

ファクトチェックの特徴

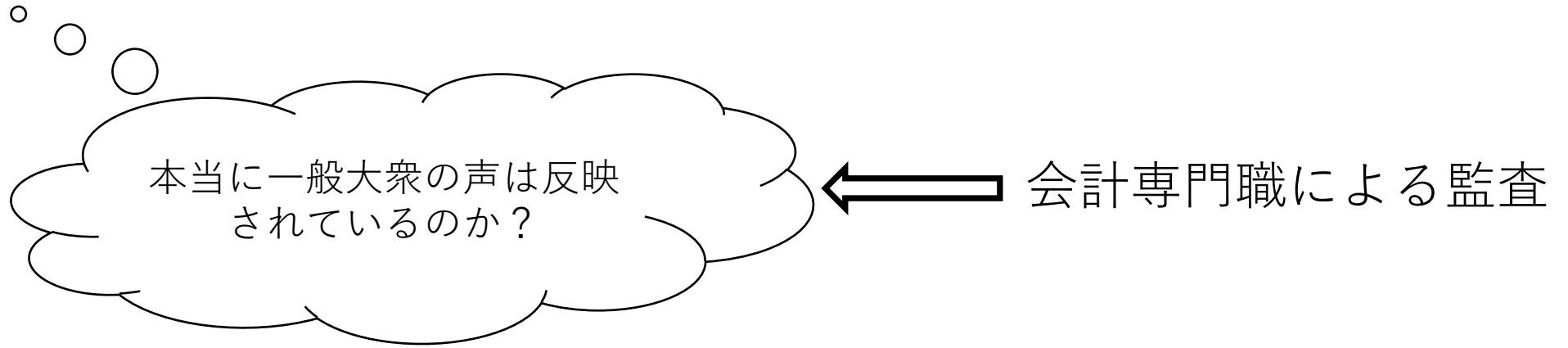
- ▷ チェック対象の選択における一般大衆の声の反映
- ▷ 評価結果に至るまでのプロセスの公表
- ▷ 評価結果への異議申し立ての仕組み

一般大衆の重視・応答的

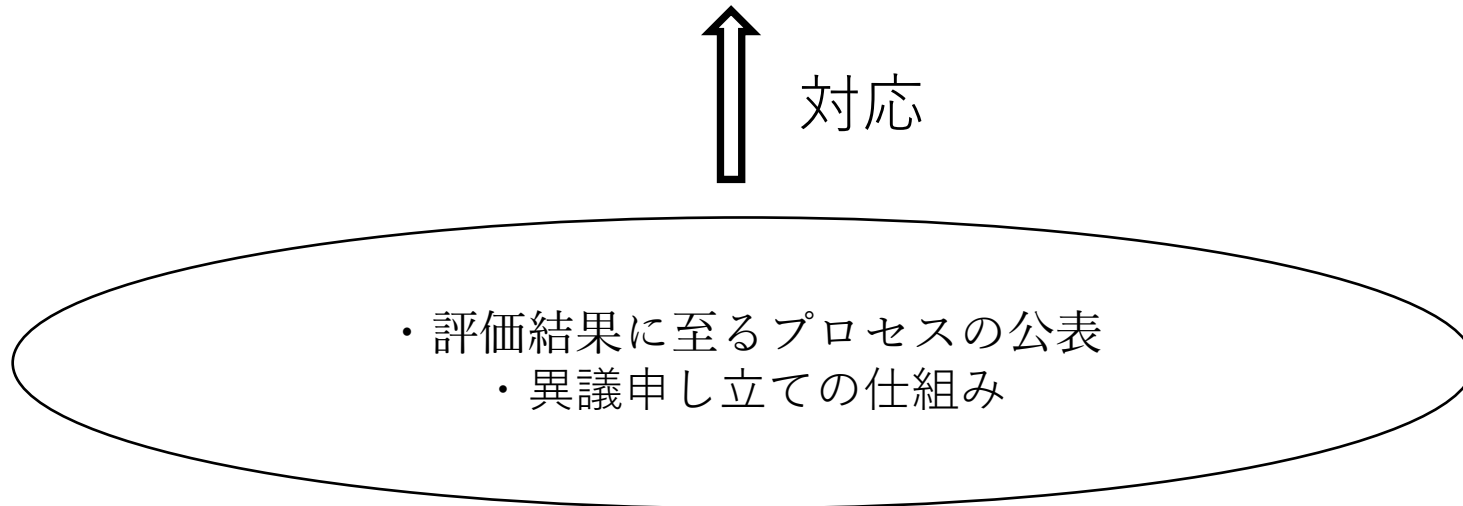
- ・ 一般大衆のアクセスを容易にするオンライン空間の特性
- ・ ファクトチェックに必要とされる専門性の程度

▷ファクトチェックサイトの統制システムの仕組みの機能状況

→ 依然としてブラックボックス



▷定性的な情報の監査 → 監査人による主張の単純化の危険性



IV. 結論

▷ファクトチェックサイトで観察された監査社会の論理

→会計領域の理論を通じたより広い範囲の社会現象の分析の可能性

(Jeacle and Carter [2014])

▷ファクトチェックサイトに見られる監査の特徴

→多様な監査設計の可能性

将来の会計専門職への脅威と機会、現代的な課題への示唆

参考文献

- Barrett, M. and Gendron, Y. [2006] “WebTrust and the ‘commercialistic auditor’: The unrealized vision of developing auditor trustworthiness in cyberspace”, *Accounting, Auditing & Accountability Journal*, Vol.19, No.5, pp.631-662.
- Chapman, C. and Peecher, M. [2011] “Worlds of assurance”, *Accounting, Organizations and Society*, Vol. 36, No. 4-5, pp.267-268.
- Fabry, M. [2017] “Here’s how the first Fact-Checkers were able to do their jobs before the Internet”, *TIME* August 24
(<https://time.com/4858683/fact-checking-history/>).
- Graves, L. [2016] *Deciding What’s True: The Rise of Political Fact-Checking in American Journalism*, Columbia University Press.
- Graves, L. [2017] “Anatomy of a fact check: Objective practice and the contested epistemology of fact checking”, *Communication, Culture & Critique*, Vol.10, Iss.3, pp.518–537.
- Graves, L. [2018] “Boundaries not drawn: Mapping the institutional roots of the global fact checking movement”, *Journalism Studies*, Vol.19, No.5, pp.613–631.
- Greenberg, J. [2016] “Clinton says kids are healthier”, PolitiFact. October 28.
(<https://www.politifact.com/factchecks/2016/oct/28/hillary-clinton/clinton-says-kids-are-healthier/>)
- Jacobson, L. [2012] “Mitt Romney says Pakistan is on a path to overtake the U.K. in nuclear weapons”, PolitiFact, October 23.
(<https://www.politifact.com/factchecks/2012/oct/23/mitt-romney/mitt-romney-says-pakistan-path-overtake-uk-nuclear/>)

• Jacobson, L. [2015] “Barack Obama says U.S. today 'is the most respected country on Earth'”, PolitiFact, June 3.

(<https://www.politifact.com/factchecks/2015/jun/03/barack-obama/barack-obama-says-us-today-most-respected-country-/>)

• Jeacle, I. [2017] “Constructing audit society in the virtual world: The case of the online reviewer”, *Accounting, Auditing & Accountability Journal*, Vol. 30, No. 1, pp.18-37.

• Jeacle, I. and Carter, C. [2011] “In TripAdvisor we trust: Rankings, calculative regimes and abstract systems”, *Accounting, Organizations and Society*, Vol. 36, No.4-5, pp.293-309.

• Jeacle, I. and Carter, C. [2014] “Creative spaces in interdisciplinary accounting research”, *Accounting, Auditing & Accountability Journal*, Vol. 27 No. 8, pp. 1233-1240

• Jeacle, I. and Carter, C. [2022] “Audit society goes viral: The rise of the online auditor”, *Qualitative Research in Accounting & Management*, Vol. 19 No. 2, pp. 231-240.

• Kessler, G. [2014] “The global boom in political fact checking”, *The Washington Post* June 13.

(<https://www.washingtonpost.com/news/fact-checker/wp/2014/06/13/the-global-boom-in-fact-checking/>)

• Nieminen, S. and Sankari, V. [2021] “Checking PolitiFact’s fact-checks”, *Journalism Studies*, Vol, 22, No. 3, pp.358-378.

• Power, M. [1994a] *The Audit Explosion*, Demos.

• Power, M. [1994b] “The audit society”, in Hopwood, A. G. and Miller, P., eds., *Accounting as Social and Institutional Practice*, Cambridge University, pp.299-316. (坂上学記 [2003] 「監査社会」岡野浩・國部克彦・柴健次監訳『社会・組織を構築する会計—欧州における学際的研究—』所収, 中央経済社, 353-374頁) .

• Power, M. [1996] “Making things auditable”, *Accounting, Organizations and Society*, Vol. 21, No. 2-3, pp.289-315.

• Power, M. [1997] *The Audit Society: Rituals of Verification*, Oxford university Press. (國部克彦・堀口真司訳 [2003] 『監査社会－検証の儀式化－』 東洋経済新報社).

• Selby, W. [2011] “Rick Perry says if the United States sanctions Iran's central bank, that will shut down Iran's economy”, PolitiFact. November 22.

(<https://www.politifact.com/factchecks/2011/nov/22/rick-perry/rick-perry-united-states-sanction-iran/>)